

# ふくしま SAND 物語

砂遊びには、子どもの成長を促し、人と人をつなぎ、町や地域を創る力があります

(by チーム同志砂 連絡先:hkasama@dwc.doshisha.ac.jp)

= Sand Art Gallery =

全身運動、手指の動き、創造性、社会性、挑戦心など、多様な発達を引き出します。

一緒に遊びながら、親としての成長と喜び、自分自身の解放感も味わえます。

指導や援助方法、遊びや環境整備の重要性を再認識。創造的な教育の契機に。

年齢・性別を問わない砂の Play & Art。親子や祖父母と孫などの世代間交流、老いの予防やリハビリにも効果的です。



2014年5月31日～6月1日に開催した「こどもがまんなかフェスティバル(郡山市)」の砂場では、二日間で延べ約8,500人の親子が砂遊びを楽しみました。

子ども

保護者

保育者  
教師  
プレイヤー

青年～大人  
高齢者

子育て・子育て、  
楽しみ&学びの  
環境づくり



子ども会、PTA  
町内会、NPO等

商店街  
ショッピングモール  
観光協会等

会社・企業

行政

仲間同士、  
共同&協同の  
地域・町づくり



京都府向日市の幼稚園にて、お父さんたちは、3時間、黙々とサンドアートに挑戦しました。

子どもを中心とした様々な人々・団体の、コラボレーションとコミュニケーション。

地域の魅力を高め、買い物客や観光客等、多くの来場者による地域の活性化、ブランド化へ。

CSRの一環として、会社・企業イメージの向上。社内研修の場としても活用。

教育・福祉、町づくり、公園緑地、観光等、様々な部署、地域や産業界との連携。



鳥取市の砂の美術館では、世界からのアーティストによる作品の鑑賞に、毎年50万人が来場します。



サンドアートは制作のプロセスもおもしろい！



展示会には、大勢の観光客が押し寄せます。(カナダ Harrison Hot Springs)

ANAの機内誌で紹介された「砂場アカデミー」砂遊びを通して、企業内コミュニケーションの活性化！

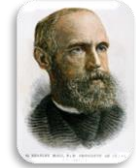
ドイツのデュッセルドルフにあるホテル「ホリデーイン」の庭に砂場が登場。ビジネスマンたちが砂遊びを通して、「それ貸して」「次はこうしよう」など、創造性と解決指向型の相互コミュニケーションを図ります。その名も「砂場アカデミー」。(2004年7月30日 ANANOVA)

これって、本当に楽しくて、ステキな研修ですね！

**児童公園の歴史は、「砂場」から始まった!!**  
1885年、ボストンにつくられた砂場は、すぐに全米中へと広がり、遊び場づくり運動 (Playground Movement) として、日本にも伝わりました。



**児童心理学研究の父、スタンレー・ホールも絶賛!!**



➤ スタンレー・ホール (Stanley Hall: 1844-1924) 『砂山物語』 "The Sand Pile Story" (1888)

「砂遊びには、勤勉な努力、見通しを持った運営、道徳、地理、数学等のあらゆる教育の要素が含まれている。...多様な興味と活動を統合させる砂遊びは教育として理想的である。教育においては、理想的なものほど実際のであり、実際のものは理想的である。」  
(訳:津守 真『子どもの世界をどう見るか』1987)

**Paris-Plages (パリ・プラーージュ)**  
毎年夏、パリ中心のセーヌ河岸には人工ビーチがつくれ、大勢の市民や観光客が、日光浴や砂遊びを楽しみます。このイベントは今、ヨーロッパの国々へ。

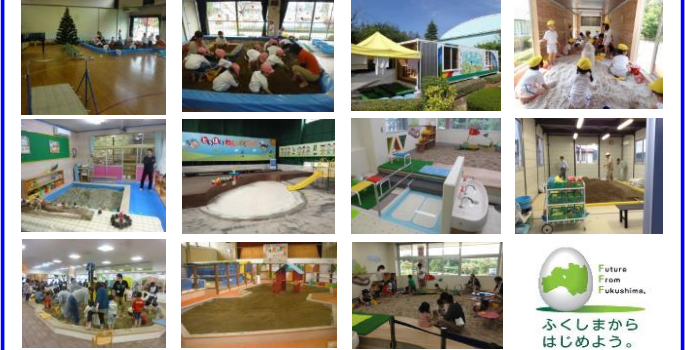


**レゴ社 (レゴブロック) の企画会議**  
社内にある砂場でミーティングをしています。柔軟な発想と思考は、砂場から！



Meetings in a sandbox

**ふくしまを、東北の砂のメッカに!**  
失いかけたからこそ、その大切さを発信します!!



東日本大震災後、福島県内につくられた様々な室内砂場



ふくしまからはじめよう。



